

大阪・関西万博開催に向けた意見

御所属 関西広域連合委員 京都府知事 御名前 西脇 隆俊 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非するべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

- 大阪・関西万博を一過性のイベントに終わらせないこと
(万博をリーディングプロジェクトとして、次につなげていく方向性の整理(社会づくり、文化づくり、まちづくり、産業づくりの視点))

(例示)

- ・ 社会づくり：国、民族、老若男女、言語、宗教、コンディションにとらわれない、あらゆる層の社会参画(誰もがアクセス可能で、参画(意見)ができる場としての万博)
- ・ 文化づくり：異なる文化との交流を通じた、新しい価値観・幸せの形の提示
豊かな日本のライフスタイル(食文化、医療、健康、教育)の提示
- ・ まちづくり：Society5.0・スマートシティの体感、MaaSなどの移動手段の実装
過去の災害対応を踏まえた防災・減災システムの構築
- ・ 産業づくり：新たな時代のスマート技術(バイオ医薬品、AIなど)を活用した世界レベルのライフサイエンス分野のさらなる振興

- 大阪・関西万博の効果を、関西全体、日本全体、世界に広げていくこと

(例示)

- ・ 関西：関西広域をサテライト的に位置付け、周遊・体験・体感する仕組みづくり
関西各地の企業・研究施設と連携した取組の展開
- ・ 日本：G20大阪サミット、ゴールデン・スポーツイヤーズから始まる国際的イベントの開催を通じた、機運やレガシーの創出
- ・ 世界：世界中の英知を結集した、人類共通の「いのち」に係る課題解決に向けた宣言・協定の締結

- それぞれが、また多様な「いのちが輝く」あり方を実現すること

(例示)

- ・ 女性、障害者、子ども、高齢者などすべての人々が健康に過ごせるような社会の実現
- ・ 「健康長寿」にとどまらず、「生命倫理」までを含む幅広い「いのち」のあり方
- ・ 「科学技術」と「文化・宗教・哲学」の関係性を問いかける場の提供

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 未来社会の技術の実装

(例示)

- ・ Society5.0、スマートシティ、MaaS などの移動手段 など

- 阪神・淡路大震災、東日本大震災、頻発する自然災害の経験を踏まえた災害対応力
- 豊かな日本の食文化（和食など）、脈々と続く日本の歴史・文化（老舗企業など）

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

- 来場者・参加者が可能な限りストレスのない（待ち時間、混雑や滞留などのない）万博

(例示)

- ・ キャッシュレス・モバイル環境の整備
- ・ 様々なバリアフリー（物理的・地理的・言語的・文化的）
- ・ 全ての人が万博を体験・体感できる仕掛け（VR・AR や MaaS など） など

- 会場である、人工島・夢洲を活かした万博

(例示)

- ・ 完成形だけでなく、その整備プロセスの体感
- ・ 自然災害への適応力（液状化、台風、高潮対策）
- ・ ウォーターフロントを活かした海上アクセス整備 など

4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。